製品安全データ･シート(SDS)

緊急情報連絡先 ： **株式会社 宮原酸素**
〒399-0701 長野県塩尻市広丘吉田1078－1
TEL: 0263-57-5202 FAX:0263-57-5203

製　　品　　名: **ピュアテクター**
化　学　分　類 :水成二酸化塩素(Aqueous Chlorine Dioxid)USA:BCI raw materials
化学名及び一般名 :塩素化酸化物の混合品
CAS Number :**ナシ** (混合)
NFPA 規 格 :火災ー0、 健康危険ー1、 反応危険ー1
*米国バイオサイド社の水成二酸化塩素"OXINE"の物理的/化学的データを示す。
(Standard HE**1545020903**)

第1節 ： 毒性成分

成　　分	C A S No	パーセント	OSHA PEL	ACGIH TLV	ACGIH	その他
亜塩素酸ナトリウム $NaClO_2$	7758－19－2	**0.54**	**未設定**	**未設定**	**未設定**	**刺激物**
二酸化塩素 ClO_2	10049－04－4	微量	0.3	**0.1**	0.3	SARA 313

※ この各データは OSHA (Occupational Safety and Health Administration＝**米国労働安全衛生局**) **HCS** (Hazard Communication Standard) 29 CFR 1910 1200 に従って作成されたものである。

第2節 ： 物理的データ

外観及び臭い	:極わずかな塩素臭を持つ無色透明の液体
沸点	:100. 55℃(213° F)
蒸気圧 (25℃)	:23. 7mmHg
蒸気密度	:0. 02kg／㎥
比重 (20℃)	:1. 03
揮発分 (容積比)	:97%(水との比較)
蒸発率	:水と同等
P H	:8. 0～8. 5
水に対する溶解度	:完全に溶ける。

第3節 ： 引火及び爆発の危険データ

引火点（方法）	:燃焼性ナシ
燃焼限界（空気中の容量%）	:上限ーN／A
	:下限ーN／A
燃焼及び爆発の危険性	:乾燥した物質は、紙、ボール紙及び木材等の燃焼性を増大させる可能性あり。この種の火災は、水あるいはこれに類する化学消火剤で消火可能である。

第4節 ： 反応性データ

安　定　性	:安定
禁　忌 （避けるべき物質）	:ラベル記載の活性化のための使用法による他は、あらゆる酸との接触を避ける。
有害な分解生成物	:酸と接触すると遊離二酸化塩素が発生する。ClO_2に対する ACGIH TLVは0．1ppmである。
有　害　な　重　合	:重合は起こらない。

第5節 ： 健康に対する安全データ

摂取	:ラットの径口 LD_{50}は、4，360mg／kgである。
目への接触	:ウサギの目への刺激に関する研究から当該製剤は、わずかな刺激性を持つと評価されており、E．P．Aの分類では［Ⅲ］に入れられる。
皮膚への接触	:ウサギの皮膚刺激に関する研究から、本剤は殆ど刺激性はないという記述的評価を受けている。
皮膚からの吸収	:皮膚を通して吸収されないようである。 ウサギの急性経皮 LD_{50}は、2，020mg／kgである。
発ガン性などについて	:RTECSにおいて亜塩素酸ナトリウムは、発ガン性あるいは変異誘発因子はない。 日本の国立衛生試験所の「変異原性試験」において下記の評価を得ている。 染色体異常体試験→0．25mg／ml処理群で、48時間目に倍数体の出現率が12%を示したが、染色体の構造的異常は誘発されなかった。 小核実験　→ClO_2　　濃度4%水溶液をマウスに対し3．2mg／kgを1回投与した時

MNPCE%±S．D．で	0．42±0．15
PCE／全赤血球%±S．D．	56．70±4．40

取扱上の注意

- 酸との接触を避けてください。
- 直射日光を避けてください。
- 目に入った場合は流水で流し医師の診断を受けて下さい。
- 万一飲み込んだ場合は、大量の水を飲ませて医師の診断を受けて下さい。
- 子供の手の届かない場所に保管して下さい。